

## Anti human LXR $\alpha$ mouse monoclonal antibody

LXR $\alpha$ : Liver X Receptor  $\alpha$ 

製品コード	PP-K8607-00
Clone No.	K8607
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 $\mu$ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR1H3
Genbank	U22662

**由来** ヒトLXR $\alpha$ (2-97 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒト LXR $\alpha$  と特異的に反応する。ヒトLXR $\beta$  には反応しない。その他の動物種との交差反応は未検討。

**精製法** 硫酸塩析法

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 可  
参考使用濃度 2  $\mu$ g/mL

**非還元 Western Blot** 未検討  
参考使用濃度 -

**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.3  $\mu$ g/mL

**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

**Supershift Assay** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

**クロマチン免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

**免疫染色** 未検討  
参考使用濃度 -

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8°Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20°C 以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献** Watanabe Y, *et al.* Nucl Recept. 2003; 1(1): 1.

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。